

令和5年度事業報告書

1 教育関係

岡山県をはじめ、中国四国における酪農業の健全な発展を図るため、企業的酪農経営に関する知識を授けるとともに、21世紀の酪農経営を担う人材養成を旨とした教育方針に基づき、下記のとおり実践教育を実施した。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、各種行事や教育活動は従来どおりに戻った。

(1) 教育実績

- ・ 講義及び実習実績…………… (別紙1)
- ・ 第58期生及び第59期生就学状況…………… (別紙2)
- ・ 第58期生卒業生名簿及び第59期生学生名簿…………… (別紙3)
- ・ 令和6年度第60期生入学許可者数及び入学者名簿…………… (別紙4)
- ・ 出身県別卒業生及び在校生数…………… (別紙5)
- ・ 校外実務研修 (令和5年4月20日～11月22日) 研修農家数：37農場
- ・ 酪農関係各種施設等の見学 (鏡野CS、生乳検査センター、大山乳業、畜産研究所)

(2) 専門教育・講習会・酪農フィールド研修等

- ・ 家畜人工授精講習会：令和5年11月27日～12月26日 (学生27名)
- ・ 受精卵移植技術講習会
 - 体内：令和6年1月9日～2月1日 (学生16名)
- ・ 牛削蹄師講習会：令和5年12月6～7日 (学生3名)
- ・ 酪農ヘルパー専門技術員養成研修会 令和5年11月6～17日 (外部2名+学生13名)
- ・ フォークリフト技能講習：令和5年10月16日、30～31日 (学生20名)
- ・ 車両系建設機械等技能講習：令和6年3月12～13日、27～28日 (学生20名)
- ・ 酪農フィールド研修：
 - 全国酪農業協同組合連合会新人職員 令和5年4月14日～5月25日 24名
 - 全酪アカデミー 令和5年4月14～28日 2名
 - おかやま酪農業協同組合他 令和5年7月31～8月4日 5名
 - 日本農産工業 令和5年11月6日～17日 2名
 - オハヨー乳業 ①令和5年6月12～16日 11名 ②7月3～7日 9名
 - ③令和5年7月10～14日 10名 ④10月2～4日 8名
 - ⑤令和5年10月16～18日 10名 計48名

・ 資格取得状況

資格の種類	受講者数	合格者数	合格率	備考
家畜人工授精師講習会	27人	25人	93%	合格証
家畜体内受精卵移植講習会	16人	16人	100%	合格証
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験	3人	3人	100%	合格証
フォークリフト運転技能講習	20人	20人	100%	修了証
車両系建設機械 (整地等) 技能講習	20人	20人	100%	修了証
大型特殊自動車運転免許 (農耕限定)	1人	1人	100%	免許証
〃 (限定解除)	14人	14人	100%	免許証
牽引自動車運転免許 (農耕限定)	25人	21人	84%	免許証

※ 本校の学生のみ記載

(3) 農場HACCP

令和5年1月に両牧場を合わせ附属農場として更新認証され、その手法に基づいて、消費者の求める安全で高品質な生乳を継続的に生産し、学生等が生産段階における食品の安全確保に係る方法や法令等を学ぶ教育施設としてレベルアップを図っている。

令和5年8月に全国の農業高校、農業大学校等の農業教育機関を対象とした「農場HACCPの指導に関する研修会」を本校を会場として(一社)中央畜産会主催で開催した。

(4) 学校評価

学校教育法及び同施行規則の改正により、専修学校においても学校評価制度に関する規定が設けられたことから、本校でも、教育の質の改善等を目的に取り組を進めた。

- ① 中期運営計画を踏まえた、学校の重点目標の設定
学生の確保(50名以上)、酪農への就業率の確保(100%)
- ② 学生・卒業生によるアンケートの実施(58、59期生 回収:40人)
- ③ アンケート結果を踏まえた具体の目標設定
・教育カリキュラムや学生支援の充実及び運営体制の強化等
- ④ 職員研修の実施
- ⑤ 職員の自己評価の実施(13人)
- ⑥ 学校関係者評価の実施(R6.3.21)

(5) その他

・酪農教育ファーム認証牧場活動

酪農に対する一般消費者の理解を深めるため、学校児童・生徒等に対する搾乳体験、牧場見学等を実施した。(407名)

・畜産共進会への出品を通じ、牛の見方、審査の知識、リード技術、牛の管理(牛洗い、ブラッシング、毛刈り、削蹄、調教)等の実務に取り組んだ。

令和5年4月2日 第38回中国地区B&Wショウへ4頭出品

ジュニアチャンピオン1頭、クラスチャンピオン2頭

令和5年4月14日 第10回オールジャパンB&Wショウへ2頭出品

未經産ミドルクラス最優秀学校賞1頭

令和5年10月14~15日 第78回岡山県畜産共進会へ11頭出品

ホルスタイン種クラスチャンピオン1頭

令和6年3月16日 第8回おかやまB&Wショウへ6頭出品

クラスチャンピオン3頭、内1頭がリザーブジュニアチャンピオン受賞

・農業機械作業についての安全意識向上及び技術の習得

令和5年11月15日に「農業機械安全作業講習」を実施し、ヤンマーアグリジャパン(株)社員よりトラクターの安全な乗り方、トラクタアタッチメントの安全な脱着方法及び刈り払い機の安全な操作について学習した。

・スマート農業技術への理解醸成

令和6年2月15~16日に酪農大学校、県内農業高校、県畜産協会、県畜産課の学生及び職員を対象とした「多様な担い手支援事業に係る研修会」を本校を会場として(一社)中央畜産会主催で開催し、先端技術及び機械導入効果を学習した。

・高度な牛削蹄技術の見学

令和5年9月19日に本校を会場として中国四国地区牛削蹄競技大会事務局主催による競技大会が開催され、学生達はプロによる高度な削蹄技術を学んだ。

・各種発表会、コンクール等への参加

- 第17回全農学生「酪農の夢」コンクール優秀賞 (R5.11.30東京都)
59期生 本部 琴海 「口蹄疫を乗り越えて」

・就学資金の確保支援

① 就農準備資金（旧農業次世代人材投資事業）

※ 全国型教育機関として全国農業会議所から承認

58期生(卒業)	59期生(2年)	合計
7名	8名	15名

② 奨学金

※ 専修学校化により、受給可能

58期生(卒業)	59期生(2年)	合計
11名	12名	23名

2 生産関係

令和元年10月30日付けで岡山県真庭市から農業経営改善計画の認定を受け、認定農業者を取得した。

附属第1牧場（ホルスタイン種）及び附属第2牧場（ジャージー種）で牛乳の生産実習を行うとともに農協へ売払委託を行った。

・生乳生産量（売払金額）・・1,058t（163,572千円）

第1牧場：526t（75,889千円）

第2牧場：532t（87,683千円）

3 決算関係

正味財産増減計算書で、正味財産期末残高は302,214,775円となった。

4 令和5年度事業報告附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。